

平成29年度大学院地球社会統合科学府

修士課程（冬季）入学試験

入学試験問題

⑧ 文化人類学

注意事項

1. 問題は「はじめ」の合図があるまで開けないこと。
2. 試験開始後、解答用紙に受験番号等を明記すること。
3. 解答用紙は、必ず全部提出すること。
4. 問題冊子は持ち帰ってよい。
5. 指定の解答用紙を用いること。

I. つぎの人名から4人を選び、それぞれ、主要著作に言及しつつ、その研究について概説しなさい。  
解答の前に記号(大文字)を記すこと。(各3行程度)(各10点、合計40点)

(A) フランツ・ボアズ (Franz Boas)、(B) マルセル・グリオール (Marcel Griaule)  
(C) クリフォード・ギアツ (Clifford Geertz)、(D) ブラニスラフ・マリノフスキ (Bronislaw Malinowski)、(E) マルセル・モース (Marcel Mauss)、(F) メアリー・ダグラス (Mary Douglas)、  
(G) メルヴィル・ハースコヴィッツ (Melville Herskovits)、(H) W.E.B. デュボイス (William Edward Burghardt DuBois)、(I) ルース・ベネディクト (Ruth Benedict)

II. つぎの項目のなかから4つを選び、それぞれ文化人類学における意味を考慮に入れ、簡単に説明しなさい。解答の前に記号(小文字)を記すこと。(各3行程度)(各10点、合計40点)

(a) ポストコロニアリズム (postcolonialism)、(b) 節合 (articulation)、(c) パースペクティブ主義 (perspectivism)、(d) 構造主義 (structuralism)、(e) アニミズム (animism)、(f) 返還 (repatriation)、  
(g) 脱植民地化 (decolonization)、(h) 翻訳 (translation)、(i) 人種 (race)

III. 1986年、クリフォード (James Clifford) とマーカス (George Marcus) の共編による『文化を書く』(Writing Culture: The Poetics and Politics of Ethnography) がアメリカ合衆国で刊行されました。20世紀末にかけ、この書物の影響はグローバル規模で広がりました。この書物が提起した問題のうち、あなたがもっとも重要であると考えた問題を1つだけ選び、その問題に対するあなたの見解を述べなさい。(10行程度)(40点)

IV. 英国の文学研究者レイモンド・ウィリアムズ (Raymond Williams) は、『キーワード辞典』(Keywords: A Vocabulary of Culture and Society) のなかで、「英語で一番ややこしい語を二、三挙げるとすれば、culture [文化] がそのひとつとして挙げられるだろう」と述べています。文化人類学史においても、文化は重要な分析的役割を担ってきた概念です。文化概念の系譜を簡単に論じなさい。(10行程度)(40点)

V. 文化人類学という知は現代社会にどのような貢献が可能なのか、あなたの考えを述べなさい。(10行程度)(40点)